



発行所  
山陽新聞社  
本社・新聞製作センター  
岡山市新屋敷町1丁目1番18号  
©山陽新聞社 2005

号外

# 高らかに賛歌合唱



幕末の備中松山藩で藩政改革を行った山田方谷(1805~77年)の生誕200年祭(高梁方谷会主催、山陽新聞社共催)が11日、高梁市向町の市総合福祉

センターで開かれた。復活した賛歌「山田方谷」が高らかに合唱され、方谷の漢詩吟詠もあり、同方谷会メンバーらが遺徳をしのんだ。

賛歌は1910年、墓を中心とした方谷園(同市中井町西方)の開園式で歌われたが、楽譜がなくなり、今回新たに作曲された。同市内の「津川女声コーラス蘭(らん)」と「ヴォーカル沙羅(さら)」が合同で、「仰げや仰げ世に名も高き方谷先生」と力強く二部合唱した。方



方谷自作の漢詩の吟詠

谷没後100年祭で作られた頌歌(しょうか)「山田方谷」も披露された。

方谷自作の漢詩の吟詠や郷土史家田井章夫氏の講話、福もちまきもあった。

山田方谷は、現在の同市中井町西方の農家生まれ。藩校有終館の学頭を経て藩政責任者になり、財政や軍制改革を行った。



山田方谷像の前で遺徳をしのぶ高梁方谷会メンバーや市民。高梁市・郷土資料館前

## 方谷生誕200年祭 遺徳しのび市民集う



方谷祭に出席した人々

山陽新聞購読のお申し込みは

フリーダイヤル 0120  
サンヨーヨミタイ  
34-4301